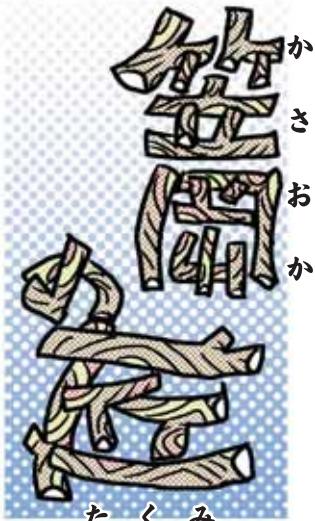




フレミッシュ織の作品

第七回 織物
多賀郁子さん（笠岡）

腕に確かな技術を持つ人がいる。その腕で作られるものが人々を魅了する。このコーナーでは、そんなキラリと光る技を持つ「匠」たちを紹介します。

織機に向かい思い描いたイメージの世界に一步踏み込むと無我の境地に陥るのか時間の流れさえも止まり、その手で自在に操られた縦糸と横糸は、やがて鮮やかでかつ繊細な作品にその姿を変えていきます。

高校時代に初めて出会い、強く興味を惹かれた織物の世界。日本では数少ないスウェーデン生まれの「フレミッシュ織」という技法を習得された多賀さんは、独特的の光沢をもち深い色調の作品作りに取り組まれています。

「十色以上の極細の糸を、ピンで押し込めながら作り上げていく手法はとても根気が必要で、作品づくりは一日にわずかしか進みません。」

旅先などで自然に触れるたびに、作品のイメージが湧いてくる。菜の花に挑戦してみたいんです。そして、「私は笠岡湾干拓地に広がる、菜の花織りだけではなく、染めの工程にも関心をもつていますよ。」と嬉しそうに語つてくださいました。

「伊藤草白展」会期中～6月4日(日)竹喬の影響を非常に強く受けた画家の初の回顧展です。

展覧会と行事のご案内

伊藤草白展
会期中～6月4日(日)
竹喬の影響を非常に強く受けた画家の初の回顧展です。

ギャラリートーク
5月6日(土)・20日(土)
13:30～14:30
展示室で作品を解説します。
入館料のみ必要
(65歳以上は無料)

〒714-0087
笠岡市六番町1-17
☎63-3967
ホームページ
<http://www.city.kasaoka.okayama.jp/0013/0001.html>



発行日／平成18年5月1日
発行／笠岡市役所
編集／企画政策課
〒714-8601 笠岡市中央町1-1
☎69-2110

印刷／株国輝堂 ☎67-5111



※この広報は再生紙を使用し地球環境にやさしい植物性大豆油インキで印刷しています。

「：題材を得たときに、手取り早くすぐに制作する人がありますけれども、私の場合はスローモーションですから、温める時間が必要なんです。温めている間に、どういうふうにそれを表現したらいいかということが、わりに具体的に素材との関連をもちながら心のなかで養われていくようです。」

（竹喬のことば）

このスケッチをもとに描かれた作品「一本の木」は、昭和47年の第4回改組日展に出品されている。スケッチの時からほとんどは、親しい友人にプレゼントされるそうですが、その代わりに、私にとって一番貴重な、新しいアイデアをいただけるんですよ。」と嬉しそうに語つてくださいました。

旅先などで自然に触れるたびに、花に挑戦してみたいんですね。そして、「私は笠岡湾干拓地に広がる、菜の花織りだけでなく、染めの工程にも関心をもつていますよ。」と話され、工房も広げたいんではないですよ。」と熱い想いが伝わってきました。

このスケッチをもとに描かれた作品「一本の木」は、昭和47年の第4回改組日展に出品されている。スケッチの時からほとんどは、親しい友人にプレゼントされるそうですが、その代わりに、私にとって一番貴重な、新しいアイデアをいただけるんですよ。」と嬉しそうに語つてくださいました。

これから市内のいろいろな催しや地域活動を取材に行きますので、見かけたら気軽に声を掛けてください。

（主）



雨雲
小野竹喬 作
昭和29(1954)年
37.6×27.0cm

竹喬美術館の光彩 41

今月の表紙

おいしくできるかな。慣れない手つきで巻き寿司づくりに挑戦しているのは、「子どもなんでも弁当を作りました。シーチキンなどの具を用意した巻き寿司づくりでは、両手をお米だけにし悪戦苦闘しましたが、お好みの具を入れたおにぎりでは、丸や三角に上手に丸めっていました。子どもたちの健やかな成長は、市民みんなの願いです。



100

笠岡市ホームページ：<http://www.city.kasaoka.okayama.jp>
メールアドレス：kouhou@city.kasaoka.okayama.jp